

## 夏休みの課題

2022. 7. 26

夏休みに入っている。野田中学校の場合は32日間である。以前よりも3～4日短くなっている。世の中では、学校が休みなことから先生も夏休みは休んでいると思われているかもしれない。そんなことはない。通常勤務である。部活動の指導もある。三者面談もある。英語弁論の指導もある。他にも研修会や出張もある。

とはいえ、普段よりはゆったりできることは事実である。この期間に何をすることが重要である。いつもはやろうと思っていてもできなかったことをする。じっくり本を読む。2学期の授業の準備をする。美術館に行く。映画を見る。一度立ち止まることができたり、リフレッシュしたりできる貴重な期間である。

もう何度も先生の夏休みを経験しているが、生徒と同じで宿題がある夏休みは憂鬱なものである。やはり、何々しなければならぬというのは嫌なものである。宿題の締切はたいがい夏休み明けすぐに設定されているため、その宿題が終わるまではずっと気が晴れない。気分的には優れないが、その宿題が力量アップにつながっていたりするからやるしかない。

さて、今回の夏休みだが、やらなければならない仕事はもちろんある。だが、昨年と比べると少ない。そこで、自分で自分の課題を設定した。これにはやらされ感はない。やらなくてもいいことを自分からやるのである。

宿題のタイトルは「リーディングスキル導入の手引き ～リーディングスキルの理解と授業改善～」である。リーディングスキルを本格的に勉強し始めて、ちょうど1年になる。本や資料を読んだり、毎月研修会に参加したり、授業を見に行ったりと行動してきた。その度ごとに、野田中学校の先生方に伝えたり、ホームページにアップしたりしてきた。長期間にわたるインプットである。

もうそろそろいいかなと思う。ここで、一度、今まで吸収したものを取捨選択し、先生方にわかってもらえるように翻訳して、ガイドブックを作ろうと思う。リーディングスキルの視点から授業改善に取り組む先生方への手引書である。ここには、まだまだ決まってはいるが、来年度の4月から野田中学校で共に働く先生方も入っている。

これを読めば、リーディングスキルのことがわかって、何をすればいいのか、何をすべきなのかが理解できるというものである。どんなものができるかはわからない。でき上がったものを評価するのは先生方である。

他にも、この夏休みにやりたいことがある。宮城県美術館に行きたい。「特別展『ポンペイ』」が開催されている。イタリアに行って最初の小旅行がポンペイだった。子どもは小さいし、5月だというのに暑いしでじっくり見ることができなかった。まさか日本でじっくり見ることになるとは。

もう一つは、何とんでも「キングダム2 遙かなる大地へ」である。「トップガン マーヴェリック」に続いて楽しみな映画である。ワクワクしながら映画館に行けるのも夏休みならではのことである。

他にも、家族が勢ぞろいしたり、実家に孫を連れて行ったりと、恒例行事も控えている。夏休みだからこそこのことを一つでも多くやっていきたい。今年こそは、先生としての夏休みを少しでも充実させたい。